

9月30日に任期を終える国際交流員グルン・エナさんから奥出雲町のみなさんへメッセージをいただきました。

ナマステ奥出雲町！

町内在住の唯一のインド人、エナです！

2018年8月に奥出雲町の国際交流員として任命され、来町しました。9月30日に任期を終え、帰国することとなりました。3年間とは思えないほど、一瞬で過ぎてしまった短い間でしたが、町民のみなさん、本当にお世話になりました！

奥出雲町への派遣が決まった時、日本大使館の方に「本当に奥出雲町へ行ってくれるのですか？」と、聞かれた記憶があります。確かに、それまでに暮らしてきた環境とは全く異なる環境の中で社会人デビューをする上、知人が一人もいない場所で生活することは、不安でした。ですが、町民のみなさんがとても優しくしてくれたおかげで、新しい生活にすぐ慣れることができました。また、良い思い出もたくさん作ることができました。お世話になった方々に、この場を借りて、心より感謝をしたいと思います。3年間、本当にありがとうございました！英語には、「*Home is where your heart is*」（住めば都）ということわざがあり、私の奥出雲町生活もまさにそのものでした。

もちろん、楽しいことばかりではありませんでした。任期後半の頃から情勢が突然変わり、大変な時期にも直面しました。成し遂げられなかったこともあります。ですが、インドと奥出雲町の交流が終了してしまうことはありません。任務に期限があっても、町の人々と築いた絆は続きます。この絆をもって、今後もインドと日本の掛け橋として、国際理解と協力の業務に携わりたいと思います。

そして最後に、

～私の活動の最も中心的な存在だった奥出雲町の子供たちへ～

インドについて教えたことを忘れないで下さい。インド人は毎日カレーを食べません！

グルン・エナさんが「JET絆大使」に任命されました！

「JET絆大使」とは、「語学指導等を行う外国人青年招致事業（JETプログラム）」を終了するJET参加者を、我が国及び勤務した地域と母国との友好関係推進に「絆」としてJETプログラム終了後も活躍してもらうことを期待し、総務大臣が任命するものです。



▲小中学校でインドの文化を教えたグルン・エナさん

「スピードダウン協力隊」出発式開催

「スピードダウン協力隊」出発式が、8月19日、雲南警察署三成広域交番で開催され、奥出雲町交通安全対策協議会と安全安心推進協議会の委員約20名が出席しました。

同警察署には、国道314、432号線や主要地方道玉湯吾妻山線の3つの主要幹線道路で、高速走行する車

が多く、不安を感じるという意見が多く寄せられています。また、この3つの主要幹線は小・中学生の通学路でもあり、千葉県八街市で下校途中の小学生が死傷するような痛ましい交通事故を町内で発生させないよう、通学路での交通安全確保に努めていく必要があります。

こうしたことから同警察署と町交通安全対策協議会では、通学路で車両の制限速度超過を抑止し、交通事故を未然に防止するため、「スピードダウン協力隊」と記載したマグネット式ステッカーを制作しました。このステッカーを両協議会委員が車両の見えやすいところに張り、周りの方に「見せる活動」で速度抑制の啓発を図ります。

▲ステッカーを披露する三成広域交番の平田所長



横田高校男子ホッケー部は、1回戦から順調に勝ち進み、準決勝戦で奈良県の天理高校と対戦しました。試合開始から両チームの激しい攻防が続き、横田高校がPCを獲得し、先制点を決めました。そして、第3クォーターでは、天理高校が終了間際にPCを獲得し、同点に追いつきました。第4クォーターでは、このままでは終われないという両チームの思いがぶつかり合い、横田高校がPCを獲得し、2-1となりましたが、天

理高校の得意な攻撃から同点に追いつかれ、試合が終了となりました。勝負は、SO戦へ突入し、横田高校の確実なシユートとゴールキーパーの堅守により3-1で勝利しました。

＜渡部純選手のコメント＞
優勝できて素直に嬉しいです。絶対勝つという強い気持ちを持ち続けたことで優勝という結果に結びついたと思います。

＜伊藤直登監督のコメント＞
9大会ぶりの6回目の優勝をとても嬉しく思います。東京五輪での本校卒業生の活躍に刺激を受け、昨年大会が中止となった先輩達の思いもせて選手達に全力を出し切ってくれました。暗いニュースが多い中、この優勝報告が奥出雲町の皆様の元気に繋がれば幸いです。

PC（ペナルティコーナー）とは…
守備側の選手が反則をした場合等、攻撃側に与えられるセットプレー。

SO（シユートアウト）戦とは…
試合時間内に勝敗がつかない場合に行われる。両チームの選手がゴールキーパーと1対1を交互に行い、最終的にシユートを多く決めたチームが勝者となる。

男子第84回・女子第63回 全国高等学校ホッケー選手権大会（インターハイ） 横田高校男子ホッケー部優勝

第51回 JOCジュニアオリンピックカップ 全日本中学生ホッケー選手権大会 横田中学校女子ホッケー部準優勝

インターハイのホッケー競技が、8月14日から18日にかけて富山県小矢部市で開催され、横田高校男女ホッケー部が出場しました。全国から男子28チーム、女子20チームが出場し、男子は優勝、女子はベスト16という結果でした。なお、雨天による会場変更により、決勝戦は行われず、男女とも準決勝の勝者が優勝となりました。

JOCジュニアオリンピック第51回全日本中学生ホッケー選手権大会が、8月21日から23日にかけて埼玉県飯能市で開催されました。全国から男女それぞれ24チームが出場し、男子はベスト8、女子は準優勝という結果となりました。

予選リーグを1位で突破した横田中学校女子ホッケー部は、決勝トーナメントで全国制覇の経験を持つチーム等に勝利し、準決勝へ駒を進めました。準決勝では、強豪校の滋賀県伊吹山中学校と対戦し、コートを広く使ったパスやドリブルなどを駆使して横田中学校ペースで試合が進み、2-1で勝利しました。決勝は、中国予選で対戦した岡山県瀬戸中学校と対戦しました。一進一退で試合が進み、後半開始直後横田中学校は、PCから先取点をとり、試合を優位に進めました。終盤に2失点をして3度目の優勝にあと一步届きませんでした。どの試合も接戦でしたが、堅い守備から一人一人の選手の良さを発揮し、3年生を中心に集中力を切らさず戦い抜き、準優勝に輝きました。

＜風谷夕莉選手のコメント＞
決勝では、惜しくも敗れましたが、準優勝できました。どの試合も全部接戦で、諦めない気持ちや追いつく力は、今後にも生かされると思います。これまで関わっていただいた全ての皆さんに感謝の気持ちです。

＜児島史朗監督のコメント＞
6年ぶりに決勝に進出し、準優勝できたことをうれしく思います。「日本一のチームで全国制覇」を合い言葉に日々練習に励んできた成果が発揮でき満足しています。昨年は、今大会が中止となり、先輩方の思いを十分に感じながら試合に臨みました。町や学校保護者会をはじめお世話になった皆様に感謝し、今後も選手の成長を見守り続けていきたいと思っています。

